

退院後の支援ニーズに関する総合アセスメント

退院後の支援ニーズ・課題に対する本人の希望（どうなりたいか、どのような支援を希望するか）とストレンクス			
A: 環境要因	支援ニーズ・課題 <b>近所づきあい (近隣の人との関係性)</b>	本人の希望 <b>特になし</b>	ストレンクス（強み、できること） <b>弟家族が近所に住んでいる</b>
B: 生活機能 (活動)	支援ニーズ・課題 <b>適切な食事がとれない 掃除が苦手</b>	本人の希望 <b>家事を手伝ってほしい</b>	ストレンクス（強み、できること） <b>セルフケア、金銭管理は問題なし</b>
C: 社会参加	支援ニーズ・課題 <b>日中活動</b>	本人の希望 <b>仕事がしたい</b>	ストレンクス（強み、できること） <b>電車でひと駅のところ、就労支援を行っているデイケアがある</b>
D: 心身の状態	支援ニーズ・課題 <b>精神症状のコントロール 糖尿病の治療</b>	本人の希望 <b>糖尿病が悪くならないようにしたい</b>	ストレンクス（強み、できること）
E: 支援継続	支援ニーズ・課題 <b>病識が不十分</b>	本人の希望	ストレンクス（強み、できること） <b>テボ剤は受け入れている</b>
F: 行動	支援ニーズ・課題	本人の希望	ストレンクス（強み、できること）
その他	支援ニーズ・課題	本人の希望	ストレンクス（強み、できること）
アセスメントの まとめ	<p><b>糖尿病悪化予防のための適切な食生活が重要。</b>  <b>テボ剤により精神症状は安定しており、就労支援を行っているデイケアに通うことも選択肢のひとつになる。</b>  <b>本人は病識不十分であるが、治療や支援は受け入れているため、仕事をしたいという本人の希望を重視した支援を行うことにより、安定した生活と他害行為の予防につなげたい。</b></p>		